

## 令和7年度 学 校 評 価 報 告

草加市立新栄中学校  
(令和8年1月30日作成)

<b>1 学校教育目標</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学ぶ生徒</li> <li>・健康でたくましい生徒</li> <li>・思いやりのある生徒</li> <li>・正しい行動のできる生徒</li> </ul>	
目指す学校像：生徒も教師も「居心地のよい明るく活力のある新栄中学校」	
<b>2 重点目標・努力目標</b>	<b>3 前年度の成果と課題</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「指導の基」や「草加っ子の基礎基本」を軸とした確かな学力の定着</li> <li>・発達支持的生徒指導の充実によるいじめや不登校等への適切な対応</li> <li>・いじめ防止対策委員会を主軸とした組織的な対応</li> </ul>	<b>成果</b> ○働き方改革について ○地域との連携・開かれた学校 <b>課題</b> ●継続した学力向上の取組 ●学校図書館の活用 ●働き方改革の推進

<b>4 評価表</b> ※評価基準 [A：十分達成している B：おおむね達成している C：やや不十分である D：不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営目標、方針</li> <li>・校務分掌組織</li> <li>・適所への適材配置</li> <li>・職員会議等の運営</li> <li>・予算の執行・決算、監査等</li> </ul>	A	○学校教育目標、学校経営方針を理解して各教育活動に取り組めた。 ○校務分掌の配置が適切であり、職員会議が効率よく運営された。
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究組織、計画、実施</li> <li>・校内研修の推進</li> <li>・授業改善への取組</li> <li>・校外研修会への参加</li> <li>・人材育成</li> </ul>	A	○研修主任、担当者を中心に計画的に研修ができた。また、内容・回数ともに適切であった。 ○校内で授業参観・授業研究会を開催し、授業改善に努めた。
	③保健管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健計画、安全計画</li> <li>・環境衛生の管理</li> <li>・健康観察、安全点検</li> <li>・緊急事態発生時の対応</li> <li>・危機管理マニュアルの作成・活用</li> </ul>	B	○定期的な安全点検により破損箇所等の確認を行うことができ、事故防止に努めることができた。 ●校舎、設備の老朽化による故障・不具合箇所が多数あり、修繕が遅れている。
	④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の管理、保護</li> <li>・施設設備の管理と有効利用</li> </ul>	A	○セキュリティ対策基準に係る情報資産台帳及び実施手順の作成。 ○個人情報とそれに関わる機器の取り扱いに関する管理職による指示伝達。
	⑤地域との連携 開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校情報の発信</li> <li>・学校公開の実施</li> <li>・学校運営協議会の推進</li> <li>・地域、校種間連携</li> <li>・PTA活動の活性化</li> </ul>	A	○学校情報の発信は、学校だより・学校メール また町会の回覧で行うことで、新栄町会の方々にご覧いただくことができた。 ○学年ごとに地域に関りのある教育活動を計画できた。
	⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す子ども像の共有</li> <li>・15年間を通じたカリキュラムの編成</li> <li>・一貫教育推進のための組織づくり</li> </ul>	B	○中学校区の園・学校による連絡協議会を開催し、目指す子ども像と各園・学校の取り組みを共有できた。 ●校内における目指す子ども像と15年間を通じたカリキュラムの理解が不十分である。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>15年間を通じたカリキュラムの編成、実施</li> <li>教育計画の作成</li> <li>教育活動の評価</li> <li>目標、方針の周知</li> <li>授業時数の配当、確保</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育目標が生徒・保護者に理解されるよう務めた。</li> <li>○教育活動に対する評価を適切に行った。</li> <li>○年間指導計画に沿った授業を行った。</li> </ul>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>外部人材の活用</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善ができた。</li> <li>○教員の授業のわかりやすさについて、9割以上の生徒が肯定的な回答であった。</li> </ul>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の作成</li> <li>各教科との関連</li> <li>道徳的実践力の育成</li> <li>家庭、地域社会との連携</li> <li>いのちの教育の推進</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「考え、議論する道徳」の実現に向けた授業実践を行うことができた。</li> <li>●ねらいを軸に授業構成の柱だてをした教材研究と授業の実践。</li> </ul>
	④特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>学級活動、学級経営</li> <li>学校行事</li> <li>生徒会活動</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校行事・生徒会活動における生徒指導・学級指導を適切に行うことができた。</li> <li>●生徒自身が課題を見つけ、課題を解決しようとする主体性を育む授業づくりと活動の推進。</li> </ul>
	⑤「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>指導内容の充実</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価の工夫</li> <li>地域の人材・物的資源の活用</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間指導計画に基づいて授業実践ができた。</li> <li>○探究・体験を軸にした活動を計画できた。</li> </ul>
	⑥生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的な生徒指導</li> <li>問題行動への対処</li> <li>教育相談、生徒理解</li> <li>いじめ防止対策</li> <li>保護者、地域、諸機関との連携</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○諸課題の解決にあたって、保護者・地域との連携を図ることができた。</li> <li>○QUの結果を活用し、新規不登校生徒を出さない取り組みの充実、継続不登校生徒への適切な支援を行った。</li> <li>●いじめ認知・解消の見届け達成度が100%に達していない。</li> </ul>
	⑦キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的なキャリア教育</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>啓発的経験の充実</li> <li>進路情報の収集・活用</li> <li>職場体験活動</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年において、職業体験や進路学習を計画に基づいて行うことができた。</li> <li>○キャリアパスポートの活用について協議することができた。</li> </ul>
	⑧特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の指導計画、支援計画</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>通常学級との交流</li> <li>諸機関との連携</li> <li>校内支援体制の整備</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理解と認識を深め、発達に課題のある生徒に対して、適切な支援の検討と実践を行った。</li> </ul>
	⑨学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画、支援計画の作成</li> <li>図書館補助員の活用</li> <li>諸機関との連携</li> <li>図書館の整備</li> <li>図書館利用の工夫</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館整備や図書館利用の工夫を推進できた。</li> <li>●授業等で学校図書館を利用する頻度が減っている。調べ学習としてはデジタル機器の活用が増えている。本を読むこと自体の良さや楽しさを実感させる必要がある。</li> </ul>
	⑩情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育計画の作成</li> <li>校内研修の充実</li> <li>ICT機器の積極的な活用</li> <li>情報モラル教育の推進</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業等での教員によるICT機器の活用と生徒によるGIGA端末の利用頻度が高く、効果的な活用ができています。</li> <li>○学校・家庭での利用に伴い情報モラル教育を積極的に行った。</li> </ul>
	⑪人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の策定</li> <li>各教科との関連</li> <li>人権感覚の育成</li> <li>校内研修の充実</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研修を実施し、職員の人権感覚を高めた。</li> <li>●人権に関わる正しい理解と認識を深めさせ、生徒の人権感覚を涵養するために計画の見直しや各教科との関連をはかる必要がある。</li> </ul>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	勉強の新栄中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種学習状況調査</li> <li>・家庭学習の定着</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の様子や各学力調査結果、授業研究会を通して、授業改善を推進することができた。</li> <li>○生徒の学習の理解度と主体性をどのように見取るか共有することができた。</li> <li>●授業のねらいの達成に向けた授業づくりに課題がある。</li> <li>●家庭学習の定着に課題がある。</li> </ul>
	あいさつの新栄中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶運動</li> <li>・専門委員会の活動</li> <li>・校内の様子</li> <li>・地域からの評価</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が自ら積極的にあいさつをすることができていた。</li> </ul>
	活力の新栄中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活気のある行事の取り組み</li> <li>・活気のある授業風景</li> <li>・活気のある部活動</li> <li>・活気のある掃除の姿</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の課題をふまえた学び方を検討し、ICTや教材の利用、教室の整備を行った。</li> <li>○各行事において、生徒が主体的に活動して準備を行い、行事を成功させることができた。</li> <li>○地域ボランティアへの積極的な参加を促し、自己肯定感・自己有用感の醸成につなげることができた。</li> </ul>

## 5 総合評価（学校関係者評価を含む）

### 1 学校運営について

6項目中A評価4項目、B評価2項目であり、おおむね達成できている。学校教育目標の実現を目指して学校経営方針に沿った教育活動を学校全体で行った。各学年や各教科、各分掌担当者が計画的に管理・運営できた。課題として、より一層の安全管理と小中一貫教育の推進があげられた。

### 2 教育活動について

11項目中A評価7項目、B評価4項目であり、おおむね達成できている。道徳や特別活動等の教科・領域指導においては、授業研究会を通してねらいを達成するための授業づくり、授業改善を推進することができた。組織的な生徒指導とトラブルへの早期対応を行い、問題の解決ができていた。課題として、生徒間の諸問題への積極的な認知と適切な指導があげられた。また、図書館教育の充実と生徒の人権感覚の育成に課題がみられた。

### 3 学校関係者評価について

I 学校運営6項目中A評価5項目、II 教育活動11項目中A評価8項目であった。課題の評価項目は、学校施設の充実に関すること、キャリア教育に関すること、学校図書館教育に関すること、人権教育に関することであった。学校の教育活動の様子が保護者・地域に広く伝わること、地域行事への生徒の参加、地域の人材活用については評価が高かった。

## 6 次年度の改善策

### (1)授業改善・確かな学力の定着

- ・授業のねらい・目標達成にむけた授業改善を定着させる。学年職員間や教科担当者間での授業参観を通して、各教科・領域の目標をふまえた授業づくりを全教員が実践できるよう研修と実践の場を設定する。
- ・学習の課題が見られる生徒に、学習内容だけでなく学習の取り組み方についても指導・支援する。

### (2)特別活動・キャリア教育

- ・学級活動や学校行事、生徒会活動において、問題を生徒が自分事としてとらえ、生徒自らが課題を見つけ、解決に向けて考え、取り組む活動を充実させる。
- また、これらの活動を通して身につけたことや学んだことをふり返らせ、自身のキャリアとする教育を推進していく。